

学校目標	高いプロ意識を持ち、お客様とのコミュニケーションを第一に、専門的な知識と技量の向上に努め、社会で自立し活躍する理容師・美容師を育成する。 (現場で評価され信頼される理容師・美容師を育成する)
生徒目標	・プロを目指し、プロとして振る舞い、プロになる ・お客様に喜ばれ、満足され、信頼されるステキな理容師・美容師となる
学校テーマ	キレイのプロはTORIBIで生まれる

評価項目	現状と課題	今年度の目標	目標達成のための方策	最終評価	評価
1 教育課程編成	○「理容師・美容師養成施設における養成課程の標準的なカリキュラム」(厚生労働省)に則った教育課程の編成を継続していく必要がある。 ○選択必修科目には、トータルビューティを学ぶ授業を継続して開講するとともに、ビジネススキルの基礎となる「ビジネスマナー」の授業では、社会人としての教養や将来の専門分野に関する選択幅を拡げている。 ○国家試験の合格率が昨年度より良くなったが、筆記試験に課題が残った。	○本校が目標とする「トータルビューティ」について学生の理解を深めるとともに、魅力ある教育課程の編成に努める。 ○課題を分析し、対策に取り組み、国家試験の合格率100%をめざす。	○トータルビューティを充実させるための教科の在り方について研究し、実践する。 ○国家試験対策の中で、実技では効果のあった取組を継続、発展させていく。筆記では問題を繰り返し練習することに加え教科書の基礎理解を徹底させる指導に重点を置くとともに、ICTを活用する等、授業改善に努める。	○学生が興味関心を持って座学、実習に取り組める教科内容となるよう改善に努めた。 ○これまでに効果のあったチェックカードを継続して活用することで基礎基本の徹底指導に効果的であった。筆記の指導では分野により傾向の分析と対策に課題が明らかになり改善が必要である。	B
2 授業内容と研修	○国家試験対策の中で実技の授業では改善の成果が出てきている。 ○座学では従来型の授業展開が多く、学生の興味関心が薄れる場面が見られる。学習意欲の維持、向上に向けた取組が必要である。	○実習だけではなく座学においても学生が興味関心を持ち、主体的に学び、学習意欲を喚起するような授業をめざす。 ○外部講師にも協力を要請し、授業改善に取り組む。	○教員の授業力、指導力向上をめざし、他校の学校訪問を実施する。また、校内での研究授業、講師を招聘した研修会、職員研修を実施し、授業改善に努める。 ○補助教材の工夫、ICTの活用を推進する。	○県外の学校視察を実施し、授業改善、教職員としての在り方、運営全般の改善について考える機会となり、資質の向上の一助となった。 ○外部講師、教職員合同のICT研修会「書画カメラの活用」を実施し授業改善の一助となった。活用の広がりには課題がある。	B
3 生徒募集と生徒支援	○新型コロナウイルス感染症が5類へ移行に伴い県外への進学者が増加、中でも理美容系専門学校を目指す県内高校生の7割が県外へ進学している。 ○入学時の基礎学力や学習意欲に学生個々の差が大きい。 ○学生の多様化、特別な配慮、支援を必要とする学生が増えてきている。	○理美容系をめざす学生が一人でも多く、本校へ志望するよう情報発信と、学校の魅力アップに努める。 ○一人ひとりの学生を大切に、目標達成に向けて教職員がチームとなって指導支援に努める。	○学生が主体的に企画、立案、活動し、発表できる大会、行事等を計画、取り組んでいく。 ○オープンキャンパスの回数を増やし、従来型に加え納涼祭、文化祭等、体験内容を工夫して開催する。また、HP、SNS等はもちろん、しゃんしゃん祭りへの参加を通じ、魅力ある取組を情報発信、学生募集に取り組む。 ○支援が必要な学生に関する研修会を実施する。 ○日常の会話、面談等を通じて個々の学生の状況把握に努め、早期の対応に務める。	○学生が主体的に取り組んだ文化祭の事後アンケートで「満足」「やや満足」を合わせて98%と高く、外部からも高い評価をいただいた。 ○1年生で進路変更の学生が複数あり、指導支援の在り方に課題が明らかになった。次年度に向けて改善が必要。	B
4 教育環境の整備	○建物、施設・設備は老朽化が始まり、計画的な修理、更新が必要。 ○校舎内の環境は、日々の掃除が不十分で清潔感に欠ける。 ○購入物品が多く、物があふれていたが、徐々に整理されてきている。 ○用具の整理整頓、効率的な活用を図る必要がある。	○学習環境の整備、必要な修繕等に出来るだけすみやかに対応する。 ○備品、購入物品、校内の清掃等含め整理、整頓、清掃、清潔に務め、それを維持するよう取り組む。	○必要な箇所については計画的に修繕、取替を実施する。 ○校内の清掃活動について清掃が不十分な箇所も有り、取組に課題があった。清掃活動の徹底に努める。 ○玄関を中心に学生作品の展示、掲示物の工夫をする。 ○実習室の実習機器の取替、リフォームを実施し、時代に即した実習となるよう努める。	○課題となっていた美容実習室のリフォームを実施した。卒業後の勤務先のサロンにて即戦力になれるよう時代に即したバックシャンパー台にすべて入れ替えた。 ○今後は図書室のリフォームを予定している。今後も必要とされる機器の取替、リフォームを計画的に進めていく。	A
5 学校運営全般	○理事、教職員、学生が共に教育目標に対する方向性を揃え、風通しの良い組織の構築を一層進める必要がある。 ○新たな教職員体制となり、資質の向上、校務運営に必要な知識の習得、ICTを活用した業務改善の取り組みが必要である。 ○学生の健康管理のため、引き続き感染防止対策を実施していく必要がある。	○情報の共有化を図り円滑な校務運営に努める。 ○教職員の校務に必要な知識の習得、業務改善に向け。研修会を実施するなど資質向上に取り組む。 ○校務のICT化を推進し、業務の効率化に努める。 ○新型コロナウイルス感染防止及びインフルエンザ感染防止にむけ基本的な対策を維持、継続する。	○教職員の待遇改善を行い、意欲向上に努める。 ○教職員が将来ビジョンについて共通理解を図り、資質向上をめざした研修会を計画、実施していく。 ○校務システムを導入し、学生の出欠、成績管理、教職員の勤怠管理等一括管理するとともに、入試の出願、関連業務のデジタル化を図る。 ○基本的な感染防止対策の実施と、関係機関と連携して取り組んでいく。	○職員会議等を通じて将来の在り方、入試の改善について検討協議を実施することができた。 ○導入した校務支援システムにより、出退勤、出欠席、成績処理等事務処理全般が円滑に進められるようになり、校務の効率化が推進した。	B

A:概ね目標を達成 B:目標を達成している部分、不十分な部分ともにある C:目標達成が概ね不十分 D:目標未達成